コンテナを使った情報基盤設計入門【オンラインライブ】（4125154）

企業のデジタルトランスフォーメーションが求められるなか、そのスピードに対応できるIT基盤が求められるようになりました。コンテナはその一つの解決策であり、多くの企業が情報基盤としてコンテナの導入・検討を進めています。コンテナの基本知識を解説するとともに、コンテナの効果を企業にもたらすためのプラクティスを解説します。

開催日時	2025年9月12日(金) 9:00-16:00ライブ配信
JUAS研修分類	ITアーキテクト・システム企画・IT基盤(IT基盤)
カテゴリー	IT基盤構築・維持・管理 専門スキル
講師	鈴木洋一朗 氏 （株式会社PKSHA Technology　AI Solution事業本部 エンジニア ） 日本アイ・ビー・エム株式会社にて、マルチテナント型クラウドサービスの運用を経て、様々な業界におけるクラウド・コンテナ案件の設計・構築・運用・技術支援を経験。 現在は株式会社PKSHA Technologyにて、コンテナを活用したソフトウェア開発に従事。 Kubernetes/OpenShiftの資格を取得 共著「OpenShift徹底活用ガイド」 シーアンドアール研究所出版
参加費	ＪＵＡＳ会員/ITC：35,200円 一般：45,100円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信（指定会場はありません）
対象	初級
開催形式	講義
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態
ライブ配信（Zoomミーティング）【セミナーのオンライン受講について 】
■テキスト
開催７日前を目途にマイページ掲載
■開催日までの課題事項
特になし

企業のデジタルトランスフォーメーションが求められるなか、そのスピードに対応できるIT基盤が求められるようになりました。
コンテナはその一つの解決策であり、多くの企業が情報基 盤としてコンテナの導入・検討を進めています。
本セミナーでは、コンテナの基本知識を解説するとともに、コンテナの効果を企業にもたらすためのプラクティスを解説します。

◆主な研修内容：
第１部コンテナの概要
・DX時代に求められる情報基盤
・コンテナとは
・コンテナの仕組み
・コンテナに期待する効果
・コンテナ事例の紹介

第２部 Dockerを活用したコンテナアプリの開発
・Dockerとは
・Dockerのコンポーネント
・コンテナアプリ実行の流れ

・コンテナアプリのライフサイクル

第３部 コンテナアプリ設計の考慮点
・コンテナアプリ設計の原則
・データ管理設計
・セキュリティ設計
・ログ設計 ・チーム設計
・開発・リリースフロー設計

第４部 コンテナを企業の情報基盤として扱うために
・コンテナの管理
・Kubernetesとは
・Kubernetesを導入するメリット
・クラウドネイティブ時代の運用体制・文化